2026年4月28日

各　位

会 社 名　　Terra Drone株式会社
代表者　　代表取締役社長　徳重 徹
(コード番号 278A 東証グロース市場)
問合せ先　　取締役　関　鉄平
(TEL. 03 - 6419 - 7193)

当社連結子会社によるWinnyLab LLCとの資本業務提携および持分取得、ならびに新製品（迎撃ドローン「Terra A2」）発売のお知らせ

Terra Drone株式会社（以下、当社）は、ウクライナのディフェンステック企業であるWinnyLab LLC（以下「ウィニーラボ社」）に対し、当社の連結子会社でオランダに拠点を置くTerra Inspectioneering B.V.を通じて、資本業務提携および同社の持分の一部を取得すること（以下、「本件取得」）についての契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本提携に伴い、新型迎撃ドローン「Terra A2」を発売することをお知らせいたします。

なお、本件は東京証券取引所の適時開示基準には該当いたしませんが、投資家判断に資する情報として任意で開示するものです。

記

1.　提携および取得の理由

近年、世界の安全保障環境は大きな転換期を迎えております。特にウクライナ戦争においては、低コストかつ大量運用可能なドローンが戦局を左右する存在となり、従来の高価・少数の兵器体系に対して大きな変革をもたらしました。例えば、数十万円規模のドローンが数億円規模の兵器を無力化する事例が増加しており、「防衛の経済合理性」は根本から再定義されています。このような状況下において、「安価な脅威には安価な手段で対抗する」ことが防衛の基本となりつつあります。

こうした背景を踏まえ、当社グループは、これまで培ってきた世界各地におけるドローン分野の技術と実運用に基づく知見を活用し、持続可能な次世代防衛基盤の構築に貢献することを目的に、2026年3月23日に防衛装備品市場への本格参入を発表いたしました。

このたび提携を行ったウィニーラボ社は、通信妨害やGPS遮断が常態化する極めて過酷な実戦環境下において、長時間のパトロールと高速な精密迎撃を両立する、広域迎撃能力を備えた電動固定翼迎撃ドローンの開発に成功しています。

当社グループは、本件取得および新型迎撃ドローン「Terra A2」の発売を通じて、これらの技術および運用ノウハウを取り込み、防衛分野におけるソリューションの早期確立を図ります。

2.　新製品（迎撃ドローン「Terra A2」）の概要

迎撃ドローン「Terra A2」は固定翼型迎撃ドローンであり、以下の用途を想定しており「来る前に対処する」防衛能力の中核を担います。

① 広域での巡回・監視
② 目標の早期発見・追尾
③ 継続的な迎撃対応
④ 接近前段階での脅威対処

高度な航空力学設計により、Shahed の一般的な速度水準とされる約 200km/h を上回る最大 312km/h で飛行し、75km の範囲をカバーします。

2026 年 3 月 31 日に発表したロケット型迎撃ドローン「Terra A1」と、今般の固定翼型迎撃ドローン「Terra A2」を組み合わせることで、脅威の距離・速度・侵入経路に応じた最適な迎撃手段を選択できるため、防衛体制の高度化が可能となります。

・固定翼型 Terra A2：前段防衛（広域監視、長時間哨戒、長距離迎撃、早期対処）
・ロケット型 Terra A1：最終防衛（高速発進、即時迎撃、近距離対応、拠点防護）

3.　本資本業務提携の相手先の概要

（1）	名称	WinnyLab LLC	
（2）	所在地	ウクライナ	
（3）	代表者の役職・氏名	CEO オルハ・ビハン	
（4）	事業内容	固定翼型無人システムおよび自律誘導ソリューションの開発・製造	
（5）	上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません
		人的関係	該当事項はありません
		取引関係	該当事項はありません

4.　取得の概要

（1）	取得価額	相手先との守秘義務および事業上の戦略的観点から非開示とさせていただきます。
（2）	取得比率	相手先との守秘義務および事業上の戦略的観点から非開示とさせていただきます。

5.　今後の見通し

本件は、中長期的には当社の企業価値の向上に寄与するものと考えておりますが、現時点では、2027年１月期の当社連結業績への影響は軽微と考えております。今後、公表すべき事象が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上